

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビリーブ 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	利用契約者なしのため、未実施（2024年11月30日時点）		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2024年11月1日 ~ 2024年11月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	利用契約者なしのため、未実施（2024年11月30日時点）		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	令和6年9月に保育所等訪問支援を開始しており、新規訪問先との連絡調整や、訪問先施設への入り方など、それぞれの訪問先施設の状況に応じた対応や支援の充実を図っていく。	多機能事業所であり、放課後等デイサービスや相談支援事業所と情報共有や連携等を行っている。 新規訪問先施設には事前に訪問し、保育所等訪問支援の趣旨や目的、学校への入り方などを説明する機会を設けている。	訪問先施設との連絡調整や情報共有の方法など、その時々状況に応じて臨機応変に対応していく。支援の充実やサービスの質向上を図っていききたい。
2	当事業所が多機能型であり、放課後等デイサービスと保育所等訪問支援を併用するケースが想定される。学校や放課後における子どもの姿が見えることで、ニーズの把握がしやすく、より具体的な支援を行うことが期待できる。	放課後等デイサービスが同敷地内に3カ所あり、会議等を通して、職員間で情報共有や連携を行っている。子どもの困り感や悩みなど、連携や支援方法を検討し、支援を行えるよう工夫している。	相談支援事業所や放課後等デイサービスと、今後も継続して情報共有や連携を行っていく。 利用者のニーズや状況は変わっていくため、その時々状況に応じて、訪問先施設や保護者と連携をとり支援の充実を図っていく。
3			